



V.S.E (Victim Support Ehime)

NPO法人被害者こころの支援センターえひめ会報

サポートニュースえひめ

事務局 / 〒791-1114 松山市井門町544-4 TEL・FAX089-905-0170

犯罪被害者等早期援助団体の指定に向けて

専務理事・事務局長 田所 和人



残暑の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。

平素は、犯罪被害者等の支援活動に、格別のご理解とご支援を頂いておりますことに厚くお礼を申し上げます。

当センターでは、犯罪被害者等が色々な苦しみから一日も早く元の平穏な生活を取り戻せるように、電話・面接相談、直接支援、被害者自助グループへの支援等の支援活動を行っております。

さて、早急に取り組みねばならない僅々の課題としては、公安委員会の「犯罪被害者等早期援助団体」の指定を早急に受けることであります。指定を受けることは、犯罪の発生直後から適正かつ確実に犯罪被害者等の支援ができ、被害者等が安心して支援が求められる団体であると認められる公的認証制度であります。指定を受けると警察から犯罪被害者等の同意を得て被害者等の氏名・住所・犯罪被害の概要等の情報の提供を受けることが出来るようになり、支援が最も必要な被害を受けた初期段階から支援活動ができることとなります。指定を受けていない当センターでは、犯罪被害者から相談があって初めて支援活動を開始するという受け身の支援活動しか出来ません。

本年9月1日現在、全国ネットワーク加入団体48団体(北海道2団体、その他の都府県は各1団体)のうち、42団体は既に公安委員会の指定を受けております。

指定を受けるためには、次のような厳しい要件が定められております。

- (1) 定款・寄付行為・規則等の整備……事業運営規程等を大幅な改正と必要な規程の整備
- (2) 人的体制の整備……犯罪被害者相談員、犯罪被害者等給付申請補助員、犯罪被害者直接支援員等必要な人員の確保と養成
- (3) 守秘義務の対応……情報の適切な管理、秘密の保持のために必要な措置
- (4) 設備面の整備……適切かつ確実に行うために電話相談室・面接相談室の設置、研修室等の整備等必要な施設の整備
- (5) 財政的基盤の整備……援助事業を相当期間継続できる程度の予算の確保(同規模県の年平均予算約1600万円に対し本県は約500万円。)

本年8月、日本財団からの助成金を頂き、平成24年中には施設の整備等を行い、平成25年度末までには、犯罪被害者等早期援助団体の指定を受けるように取り組んでおります。

今後とも、皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

相談電話 ☎(089)905-0150

☎受付 / 火・木・土曜日(午前10時～午後4時まで)
(秘密厳守)



坊ちゃん列車 高橋 基作

専門家と連携しながら、ベテランのボランティア相談員が相談に応じます。
面接相談(無料)も、まずお電話ください。

平成24年度理事会・定期総会を開催

4月26日、松山市ハーモニープラザにおいて一般社団法人・NPO法人を兼ねた理事会・総会が開催され、平成23年度事業報告・収支決算、平成24年度事業計画(案)・収支予算(案)について審議が行われ、全件承認されました。その後、愛媛県警察との委託契約や活動概要の報告、愛媛銀行・株愛媛ジェーシービー提携のカード利益金からの寄付金贈呈式、平成24年度の支援活動員の委嘱が行われました。

◇平成23年度事業報告 (NPO法人)

1 相談事業	電話相談 相談日 146日 相談件数 129件 関係機関との連携 30件
2 直接支援	警察署付添 1回 ・ 行政機関付添 1回 自宅訪問 5回 ・ 遺族・自助グループ 37回 その他 39回
3 支援活動員研修事業	全体継続研修 10回 ・ 講演会 1回 全国、県外研修 6回 部外研修 7回
4 広報・啓発事業	広報資料の配布(パンフレット・チラシ等) 76回 啓発パレード 1回 人権啓発活動 2回
5 人材育成事業	支援活動員入門講座 1回 ・ 講演活動 6回 命の授業 9回 ・ 出前講座 2回
6 会議等の開催	総会 2回、理事会 2回 企画運営委員会 3回 全国、県外会議等 2回

◇平成24年度事業計画 (NPO・一般社団法人)

1 相談事業	電話相談週 3回(火・木・土曜日) 犯罪被害者週間 8時間相談 7日間 面接相談 随時
2 直接支援	裁判所、検察庁等への付添 随時 生活支援 自助グループ支援
3 支援活動員研修事業	継続研修 年 9回 全国、中四国ブロック研修等受講 4回 各種講習会、研修会への参加 随時
4 広報・啓発事業	イベント会場等でのパンフレット等の配布 賛助会員、寄付金の募集 講演会の開催
5 人材育成事業	命の授業 10回、出前講座 3回
6 支援活動員の募集、養成	公募及び推薦 10名程度
7 公益社団法人・早期援助団体指定に向けての取り組み	

平成23年度収支決算報告

1 収入の部 (単位：円)			
科目	H23年度予算	H23年度決算	増減
会費収入	1,500,000	1,648,000	148,000
寄付金収入	1,699,500	813,323	△886,177
警察委託費	2,267,000	2,263,400	△3,600
補助金収入	100,000	100,000	0
雑収入	20,000	63,845	43,845
収入合計	5,586,500	4,888,568	697,932
2 支出の部 (単位：円)			
科目	H23年度予算	H23年度決算	増減
事業費	2,674,000	2,491,774	182,226
管理費	2,912,500	2,521,750	390,750
支出合計	5,586,500	5,013,524	572,976

平成24年度予算案

1 収入の部 (単位：円)		
科目	NPO法人	一般社団法人
会費収入	1,807,000	10,000
寄付金収入	783,000	1,200,000
事業委託費	2,483,000	0
補助金収入	100,000	0
雑収入	70,000	0
収入合計	5,243,000	1,210,000
2 支出の部 (単位：円)		
科目	NPO法人	一般社団法人
事業費	2,518,000	125,000
管理費	4,037,825	258,950
支出合計	6,555,825	383,950

日本財団から助成金等

今年8月1日付で、日本財団から犯罪被害者等早期援助団体の指定を受ける前提で、助成金402万円を頂き、これに自己資金101万円を加えて、指定を受けるための準備を始めることになりました。

主な取り組みは、次の通りです。

- 電話相談室、面接相談室の整備
- 直接支援員等の養成と知識・技能の向上
- パソコン・机・キャビネット等什器備品の整備
- ラジオによる広報啓発活動の実施
- ホームページの改定 等



被害者遺族になって思うこと

～独りぼっちの私～

加藤 栄子

夫は、平成22年1月23日14時50分、交通事故で理不尽に黄泉の国へ旅立ちました。私は、あの日以来突然独りぼっちになってしまったのです。本来は、生きているという事は楽しい筈です。事実、夫と共に暮らしたかけがえない46年の歳月は、毎日が夢と希望に満ち溢れ幸せそのものでした。夫亡き後、日々何もない事に感謝しながら懸命に生きている私と、片方では、1日も早く夫の許へ行きたいと願う私とが共存しているのです。常に傍に居て支えてくれた夫が居ない喪失感と孤独感が容赦なく私を襲ってくるのです。

愛別離苦の哀しさは言葉では言い表せません。夫は、数多くの思い出と、言い尽くせない程の幸福を心に一杯遺してくれました。しかし、思い出だけでは生きて行けないのが現実です。遺族は、悲しみ、淋しさ、空しさ、無念さ、そして憎しみを一生背負って生きなければならない苦しみがあります。遺族は、この辛さを独りで抱え込まないように、胸の内を誰かに打ち明けましょう。泣きたいときには、思いっきり泣きましょう。泣いて泣いて泣いてる内に、この涙は必ず良い涙に終わるのだと、無駄な涙に終わらせたくない、そのためにも泣き続けましょう。

出来る事なら、事故の事は忘れたい、忘れられたらどんなに楽になることでしょう。一番忘れたい事が、最も脳裏に焼き付いて離れないのです。

夫の墓参りの際、当初は菩提寺に近づいてくると、自然に涙が零れていました。しかし、いつ頃からか涙を零さなくなっている自分に気付いたのです。これが、立ち直りの兆しなのでしょうか。まだまだ、独りで生きて行く自信も覚悟も備わっていません。少しずつ回復の過程を行ったり来たりしていくのでしょうか。被害者こころの支援センターえひめ、多くの知人友人のためにも、強く生きねばと願って止みません。



犯罪被害者遺族の講演活動に同行して思う事

“傍にいてだけで”

森山 弘子

今、列車は松江をあとに足早やな音を立てながら吉備路を走り抜けようとしている。昨日までの積雪はそこかしこに小さく踞るようにして雪国の名残が視野を掠めて遠ざかる。隣の席では荷物を抱きかかえたままの彼女は「ああ〜あ。」と小さな声を上げたかと思うといつしか深い眠りについた気配。鼻頭いっぱい吹き出した汗の玉は講演での成果を物語っているかに燦然と輝き光って見えた。

「これ以上 辛く苦しい思いをする人が無く成るような社会に成って欲しい。」と彼女は声を詰らせ、時には涙を拭いながら切々と訴えた。静まり返った会場の中では小さく頷きながら目頭を押えつつ、人々は更に彼女の言葉を待った。「私達のような被害者遺族は心ない人々や、何げない言葉ひとつにさえ傷つけられ、犯罪被害者という偏見の目にさらされながら幾度悔し涙を流したことでしょ。しかし家族を支えて生きなければなりませんでした。」

人として母親として生きて来て今日あるのは「決して1人ぼっちでは無いよ」と声を掛けてくれる人々の輪の中で守られていると云う確かな思いが、崩れそうになる自分をふるい立たせてくれたのだと、そして少しずつなりとも法の改正、さらに整備される中で支援の意識改革がともないここに来てやっと被害者遺族の上にも一条の光がさし込んで来たのだと、彼女なりの心で感謝し彼女なりの言葉でその歓びに一段と語気を強め一気に語り尽くしたものだ。

そして最後に「加害者には 殺しても足りない程の憎しみが 今尚胸に疼いて居るが 加害者にも同じように消えることのない苦しみを背負って生きている家族があるだろうに……。」と、述べ添えた一言は、彼女にとっては血を吐く思いで有ったに違いない。

この思いに到達するまでの長い過酷な道程に寄添うにはあまりにも無力な自分が嘆かわしいと、己を責めた一瞬だった。

やがて彼女の勇気と強さと優しさに万来の拍手が鳴止まなかった。

汗とも涙とも覺つかない一筋の流れが頬を伝い、スポットライトを浴びたまま彼女は大役を果たし切ったのである。

いつしか車窓には暗闇のヴェールが降ろされ、ひたすら眠りこける彼女の横顔が殊更美しく映し出されている。これから先、ずーっと被害者遺族で有りつづけなければならない彼女にせめてひとときの夢路に安らかなれと祈らずには居られなかった。

唯、傍にいてだけの私でいいですか。
彼女の静かな息づかいを感じている私である。



平成24年3月

「自動販売機の設置」 「asitaカードの成約」に ご協力を

当センターは、犯罪被害に逢った方々が、1日も早く元の平穏な生活が取り戻せるために色々な支援活動をしております。

現在、活動資金として四国コカ・コーラボトリング株式会社、近畿中四国ペブシコーラ販売株式会社のご協力を頂き、自動販売機を設置した場合、販売手数料の一部を、また、愛媛銀行・株式会社JCBのご協力によりasitaカードの利用高の一部等を寄付して頂くことになっております。

自動販売機を設置して頂ける方、asitaカードのご成約を頂ける方は、当センター事務局までご連絡下さい。



支援自販機設置企業のご紹介

四国コカ・コーラボトリング株式会社
 ☆(株)愛媛銀行 ☆高浜公民館 ☆協和道路(株)
 ☆AID建設(株) ☆(株)大西運輸 ☆浅川造船(株)
 ☆(株)ガルバ興業 ☆(株)ゆずえサービス
 ☆国安商会(株) ☆ナンレイ(株) ☆(有)魚邦
 ☆(株)ヤマキチ ☆(株)オリエンタライン
 ☆(株)愛媛銀行末広町支店 ☆(有)レジャーナンゲン
 ☆宇摩建設業協同組合 ☆親和企業(株)東予営業所
 ☆社会福祉法人常美会 (おぐらの里、広瀬の里)
 ☆県森林組合連合会 (森林環境保全部、木材部、県林業会館)
 ☆伊予森林組合 ☆(有)栗の里なかやま
 ☆南予森林組合 ☆高市宅治 ☆(株)モバイルコム
 近畿中四国ペブシコーラ販売株式会社
 ☆(財)松山済美会館 ☆学校法人聖カタリナ学園

記念講演会のお知らせ 犯罪被害者週間(11月25日~12月1日)

日時/平成24年11月23日(金)勤労感謝の日 12時30分開場・13時開演
 会場/松山市総合福祉センター(若草町8-2)

- 1部 講演会「忘れていませんか 命の大切さ」
 講師 犯罪被害者遺族 小佐々 冽子(こざき きよこ)
- 2部 ♪ 愛媛県警察音楽隊の演奏 ♪

直接支援員募集・養成講座

- 1 研修目的 犯罪被害者に対する生活支援(自宅訪問・家事手伝い等)
 ・付添支援(病院・警察・裁判所等の付添い・助言等)
 ができる直接支援員を養成することを目的
- 2 募集期間 平成24年9月20日(木)~10月21日(日)
- 3 講座 ・座開催日 平成24年10月28日(日)~3月10日(日) 各月1回
 ・時間 10:00~15:00
- 4 場所 松山市ハーモニープラザ(松山市若草町8-3)ほか
- 5 対象者 当センターのボランティア入門講座の受講済者、または
 来年のボランティア入門講座を受講できる者(毎年8月
 頃開催)
- 6 受講料 1,000円

平成24年度 ボランティア入門講座 12名の方に修了証書

講座を終え、終了時のアンケートでは、7名中6名の方が土・日曜日は、ボランティア活動可能とのことでした。まだまだ現役世代でもあり、土・日曜日のイベントでの広報啓発活動や、月1回第3木曜日19時から
 の継続研修での教養、仲間づくりへの参加をお願いし、息の長いボランティア活動を望んでいます。

●当センター関係の異動

顧問 県警警務部長 平成24年8月1日異動
 新任 杉内 由美子(警察庁から)
 前任 堂前 康(警察庁へ)

参与 県警犯罪被害者支援室長 平成24年3月26日異動
 新任 山崎 淳二(県警生活安全企画課から)
 前任 奥藤 光明(松山市役所へ)

編集後記

石段をかぞへつ、秋の城山を 山頭火

「犯罪被害者等早期援助団体の指定」を受けるという目標(秋の城山)に向けて、階段(石段)を数えながら一段一段登っております。目標は、平成25年度です。皆様のご協力をお願いいたします。(事務局)

公安委員会指定・犯罪被害者等早期援助団体を目指し頑張っています。

資金援助等のご支援をお願いします。

「被害者こころの支援センターえひめ」の活動を資金面から支援して下さる「賛助会員」を募集しています。ご協力をよろしくお願いします。

【年会費】 個人/1口 1,000円以上 法人・団体/1口 10,000円以上

【口座番号】 加入者名/被害者こころの支援センターえひめ

(郵便振替) 01680-4-55218

(銀行振込) 伊予銀行愛媛県庁支店 普通預金 1550616

(銀行振込) 愛媛銀行末広町支店 普通預金 8619033

【連絡先】 〒791-1114 松山市井門町544-4 事務局電話・FAX(089)905-0170

【メールアドレス】 kokorosien.ehime@shirt.ocn.ne.jp

【ホームページ】 URL: http://www3.ocn.ne.jp/~kokoroeh/index.htm



高橋 基作